

第1回岐阜市民病院経営強化プラン策定懇談会でのご意見と事務局の考え方

取組の柱	ご意見	→	事務局の考え方
1	救急診療体制の強化に関し、新興感染症への対応を記載するとよい。	→	公立病院経営強化ガイドラインにおいて、公立病院は平時からの新興感染症への感染拡大の取組を行っていくことを求められています。当院においても感染拡大時の医療の取組を救急診療を含め取り組んでいきます。具体的な取り組みに関しては、取組の柱3内の「新興感染症への対応」に結びつけています(49頁)。
	AYA世代のがん患者に対して、外来化学療法など継続した治療への支援が行われている。がんの先進病院であるため、日本がんサポーターズケア学会の名称に合わせ、「患者支援体制」という記載を「がん患者のためのサポーターズケア」に変更したほうがよい。	→	資料4 No.①のとおり修正させていただきました。
	患者の紹介、逆紹介を更に推進する上で、慢性期に移行した患者は地域の医療機関につなぎ、当院は急性期の患者を診療していく形にすることが、医療従事者の負担軽減にもつながる。		
	新規入院患者を確保するためには、かかりつけ医との連携強化が大変重要である。かかりつけ医との連携カンファレンス等を実施することなど具体的な内容を記載するとよい。	→	資料4 No.②のとおり修正させていただきました。
	地域の医療機関との連携という観点では、周術期の口腔ケアは岐阜市歯科医師会が協力できる部分である。		
2	本プラン(案)中に薬剤師に関する記載が少ない。当院は岐阜市立の病院であるため、同じ岐阜市立である岐阜薬科大学と連携し、薬剤師の育成と確保に取り組んでいくことを記載するとよい。	→	資料4 No.③のとおり修正させていただきました。
	看護師や薬剤師だけでなく、歯科衛生士の確保も困難になってきている。	→	ご指摘のとおり、医療の担い手となる人材の確保は重要であり、一方で歯科衛生士も含めコメディカル職員の確保が今後より一層困難になると考えています。職種ごとの最適な採用試験時期の設定など新規採用者の確保に努める必要があるとの考えから具体的な取組を記載しています(46頁)。

取組の柱	ご意見	→	事務局の考え方	
8	2			
	医療従事者の派遣に関する取組として行っている消化器内科の医師派遣や揖斐厚生病院への小児科医師の派遣は二次医療圏を超えた取組であるため、「取組の柱1:役割機能の最適化と連携の強化」に記載してもよい。	→	地域全体で医療提供体制を確保していくため、医師派遣は地域の医療機関の求めに応じて対応しています。また、二次医療圏を超えた揖斐厚生病院への医師派遣の取組は、令和5年9月末で終了しているため、取組の柱2「人材の確保・育成と働き方改革への対応」に位置づけています。	
9	3			
	大きな災害発生時など有事の際には行政機関との連携が大切であるため、「地域や医療機関との連携」という記載に「行政」を追加したほうがよい。	→	ご指摘のとおり、災害発生時など有事の際には、岐阜県や岐阜市の保健所、都市防災部など行政との連携は大変重要であると考えています。また当院も行政の一端であるため、50頁に記載のとおり「関係機関」と表現しています。	
10				
	外来化学療法や血液疾患への対応が強みであるため、中央診療棟の整備の計画にあたっては、血液内科の特殊な病棟なども計画に入れるとよいのではないかと。	→	本プラン対象期間中に中央診療棟の整備の方向性について議論し、長期施設整備計画の立案に着手します(52頁)。計画の立案にあたり、貴重なご意見として参考にさせていただきます。	
11				
	施設整備については、純損益とキャッシュフローを考慮し、根拠に基づく予算を立てながら計画して欲しい。			
12	4			
	DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進は経費や人件費などの節約につながるため、どの業務を効率化する必要があるのか、どれくらい人件費が削減できるのかを検討しながら進め、職員給与費対医業収益比率が下げられるように努力する必要がある。	→	医療の質の向上、働き方改革、病院経営の効率化などを推進する重要な取組であるため、ご指摘を踏まえ、DXの推進にあたって、貴重なご意見として参考にさせていただきます。	
13				
	紹介・逆紹介の推進のため、事務処理の簡便化が進むとよい。			
14				
	DX(デジタルトランスフォーメーション)人材の確保は、全国的にも非常に難しい課題であるため、工夫して取り組んで欲しい。			
15	5			
	人材確保を進めるため、福利厚生などの充実を図り、「市民病院で働く魅力」を高めていくことが大切である。	→	資料4 No.④のとおり修正させていただきました。	
16				
	経営効率化のため、医薬品等の在庫は極力持たず必要最小限の在庫残高を維持していく病院運営を意識し、経営に取り組んでいくとよい。	→	地域の医療提供体制を確保し、良質な医療を継続的に提供していくため、医薬品等の経費節減の取り組みを通じた経営の効率化は重要であると認識しています。今後の具体的な取組の実施にあたり、貴重なご意見として参考にさせていただきます。	
17	6			
	岐阜県が策定する次回の外来医療計画の中に、高額医療機器を「地域で共通して使って行きましょう」という内容が盛り込まれる予定であると聞いている。高額医療機器の更新に関して、岐阜県の外来医療計画に沿った記載を盛り込んで欲しい。	→	資料4 No.⑤のとおり修正させていただきました。	